

2017年度 例会補助金 実施報告書

- ・例会終了後2週間以内に、メール添付または郵送にてご提出ください。
- ・当日の会場の様子等の写真がある場合は、写真データもご提出ください。
- ・提出先：〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 日本動物看護学会
info@jsvn.gr.jp

申請者について

氏名： 三好哲平 会員番号： 302061

例会について

催事名称： 第54回例会・第4回関東地区例会 『聴く・見る・伝える ～あなたはできますか？入院動物のアセスメントから看護計画の作成、状態把握と飼い主への説明まで～』

参加人数： 30 名

開催日時： 2018年2月21日 13時00分～17時00分

開催場所： 帝京科学大学千住キャンパス本館2階共生実習室

具体的な実施内容

※別紙にてご提出いただいても問題ありません。

動物看護師に必要なスキルを磨くため、今回は情報収集能力、情報処理能力、情報伝達能力を養うプログラムを組みました。今例会の前半部分は、帝京科学大学准教授の小林豊和先生をお招きし、「聴く・見る・伝える」を講義テーマに、飼い主からの患者動物の情報収集の方法をメインにご講演いただきました。「傾聴」をポイントに、いかに飼い主の心を開き治療に協力して頂く姿勢を築くかについてお話しくださしました。約60分のご講演の後、次に帝京科学大学特任助教の川村和美先生に「看護過程(看護計画)」についてご講演いただきました。収集した情報を基に、患者動物に最良の看護を提供する術をご講演いただきました。

10分の休憩を挟み、後半は実践的に看護計画を立てるグループワークに取り組みました。今回参加した現職の動物看護師と学生を6人のグループに分け、まずはアイスブレイクとして自己紹介を積み木式に他己紹介を交えながら行いました。グループワーク内容は次の通りです。

まず各グループに模擬飼い主を配置し、こちらが用意した症例を演じてもらいました。参加者には、模擬飼い主に患者動物に関する質問を、実際の間診をイメージしながら投げかけてもらいました。そして、情報収集シートへ得られた情報を書き込んでもらいました。ここで如何に必要な情報を限られた時間で得られるかというスキルを磨きました。次のステージでは、この情報も基に看護計画を各グループでディスカッションし、立案してもらいました。各々の動物病院で、看護計画を実施しているところもあれば、初めて取り組む方もいて白熱した討論が展開されました。疾病の知識がなければなかなか上手い内容でしたので、皆でいろいろな角度から見た看護を立案できていたと思います。

最後は、その看護計画を参加者全員に口頭で説明してもらいました。そして、模擬患者に治療の評価と予後などについて、実践感覚でわかりやすくロールプレイングしてもらいました。このロールプレイの評価は、発表者の説明を模擬飼い主がどのように受け取ったか、ということと、小林先生からのアドバイスで行いました。

聴く・見る・伝える。これらのスキルを向上させるきっかけとなったと思います。各自、自身の動物病院に持ち帰って、さらにスキルを磨いて欲しいと思います。全体を通して大きな収穫が得られた例会となりました。

